

ARTS for HOPE

宮城支局活動報告書 2017年7月7日

「名取市 箱塚屋敷仮設住宅」

Happy Doll Project

8ヶ月ぶりに箱塚屋敷仮設住宅へ4回目の訪問をしました。

箱塚屋敷仮設住宅は多い時で178世帯が入居されていましたが、現在は57世帯の状況。7月には、11～12世帯程転居予定との事。どんどん転居が進み、引越し準備の合間に来てくださった方もいました。参加者の中で、前回にハッピードールを作ったことがある人がほとんどで、皆さまと笑顔の再会を交わしました。

箱塚屋敷仮設住宅は、聴覚に障がいのある方もいらっしゃいます。前回のハッピードールにて初参加、今回は2回目のご参加となりました。今回も、当所スタッフによる手話通訳にて健聴者の方とコミュニケーションをとり、色々お話を楽しんでいました。

先日起こった九州の大雨が話題に上がり、濁流に飲みこまれたり、川が氾濫する映像を見て、6年前の津波を思い出し、涙が流れた…と辛い気持ちを抱えながら語ってくれました。

「まさか…」「来ないだろう…」と避難が遅れたのは、私達の時と一緒だ。

「ここは大丈夫！自分は大丈夫！」という考えはなくさないよね…！と大きくうなずきながら語り合っていました。皆が思っていることは同じで、九州のことをとても心配していました。一日でも早く日常が取り戻せますよう、心より願っております。

他仮設住宅にて開催するお祭りのご案内があったようで、夏祭りの話題も上がりました。行きたい気持ちがあっても、足が悪いから難しいかな…等の声もありました。

そんな中、「そういえば、地区によって踊り方が違うよね。私はこうやって踊っていたよ」と、踊りを披露してくれる方もいて、懐かしい盆踊りで盛り上がり、たくさんの笑顔や笑い声があふれ、素敵な時間をみんなで過ごすことが出来ました。

また、笑顔が素敵な皆さんとご一緒出来る日をとても楽しみにしています。



